

元P & Gジャパン 広報・渉外担当部長による

ビジネスに貢献する企業広報の実践

●プログラム●

【開催主旨】

広報部の活動は他部署から依頼されたリリースの発信や外部からの問い合わせの対応に終始し、作業がルーチンになってしまいがちです。しかしながら、本来、広報は社会の接点としてビジネスに大きな貢献ができる部署であり、特に情報があふれる今の時代、広報部は自ら取り組み方を変えることでビジネスへの部署の価値を大きく高めることができます。

今回のセミナーは、広報部長としてP & Gの広報部を変革し、既に様々な企業への支援もしてきた講師がビジネスに貢献する広報部として機能するための基本の考え方から具体的な手法を解説します。

◆日 時：2018年7月25日（水） 13:30～17:00

◆会 場：東京・麹町 「企業研究会 セミナールーム」

◆講 師：（株）オーセンティックス 代表取締役社長 高田 誠氏

【略歴】

1987年 P & G入社。製品開発部でダウニー、アリエール、ジョイ、中国向け商品、グローバル新商品の開発などを担当。

2001年 社内公募で広報部外部に異動。女性が80%以上の組織で、経営に戦略的な価値を生み出せる広報部を構築。社会貢献責任者として「仕事と子育てカウンセリングセンター」を設立。

2010年 広報部外部長として退社、（株）朝日ステイナビリティ・マネジメント代表取締役社長就任。
「P & G式 伝える技術 徹底する力（朝日新書）」など出版

2013年から （株）オーセンティックス 設立
様々な業種や規模の企業、行政組織、医療組織、学生を対象に力のある個人になるための仕事力、マネジメント力、ダイバーシティを活かす組織作り、などを指導。共立女子大学非常勤講師。

●参加要領●

一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛 FAX 03-5215-0951

*当会ホームページ (<https://www.bri.or.jp>) からもお申込みいただけます

●受講料● 1名（税込み、資料代含む）

正会員	34,560 円 本体価格 32,000 円
一般	37,800 円 本体価格 35,000 円

- 申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてにFAX いただけ、当会ホームページからお申し込み下さい。後日（開催日1週間～10日前まで）受講票・請求書をお送り致します。
- 申込書をFAXにてご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意下さい。
- 会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより【TOP】→【公開セミナー】→【よくあるご質問】をご参照下さい。
- 最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきますので、ご了承下さい。

一般社団法人企業研究会

担当：村野 E-mail: murano@bri.or.jp

〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2

M P R 麹町ビル 2F (旧 麹町 M-SQUARE)

TEL 03-5215-3512 FAX 03-5215-0951

181230-0401	※2018.7.25 ビジネスに貢献する企業広報の実践		
会社名			
住 所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ お名前	
e-mail			

*申込書にご記入頂きました個人情報は、本研究会に関する確認・連絡及び弊会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

ビジネスに貢献する企業広報の実践

1. 認識しておきたい広報部の経営戦略的価値

- (1) 広報とはそもそも何なのか？
- (2) リリースを出すだけの広報は価値を生めない
- (3) 企業ブランド力でビジネスを伸ばす
- (4) SNS時代の広報～変わったこと、変わらないこと

2. 情報があふれる時代、「自社発信、広報、広告」を効果的に使い分ける

- (1) 他の部署にできること、広報がビジネスに貢献できることは何か？
- (2) キーワードは第三者の「影響力」
- (3) 「拡散」簡単には起こらないことを認識する

3. コーポレート・レビューションを構築するワークプロセス

- (1) 目的から考える：これが成功の9割
- (2) ターゲットを決める
- (3) 達成したいこと、「勝ち取りたい評判」を明確にする
- (4) DNAと戦略的な意図をミックス
- (5) コミュニケーションのメカニズムをデザインする
- (6) 発信でたっせいすること、拡散で達成すること

4. コミュニケーションの実践

- (1) ワンボイス：会社のすべての接点で同じことを語る仕組みを作る
- (2) メッセージ・トライアングルの手法を活用する
- (3) 「伝わるメカニズム」をデザインする
- (4) 「拡散する理由」を準備する

5. 組織を強化する

- (1) 社会を理解する力をつける、仕組みをつくる
- (2) トップから部署の価値を認識してもらう方法
- (3) 部署のリーダーが部署の価値を決める